

経営比較分析表（令和元年度決算）

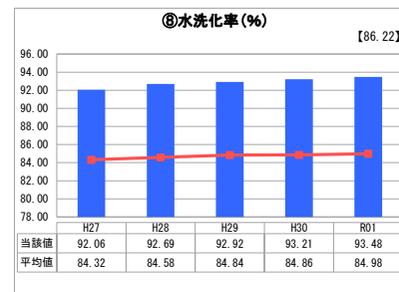
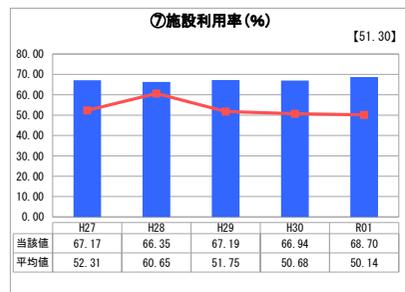
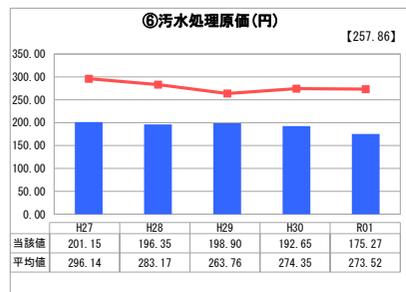
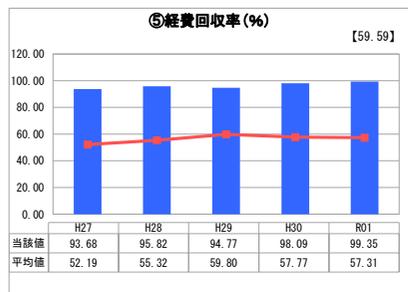
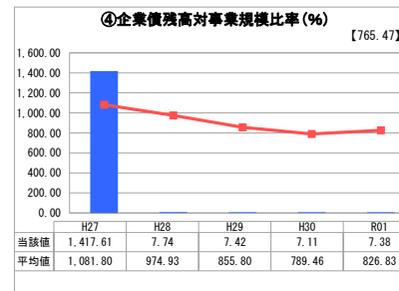
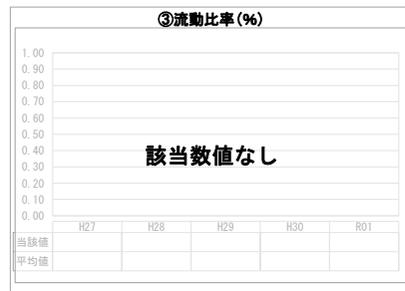
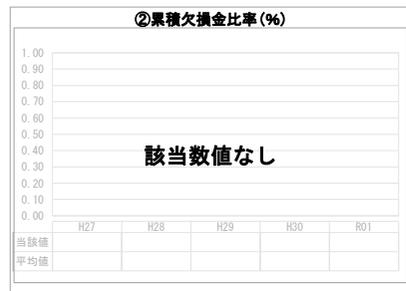
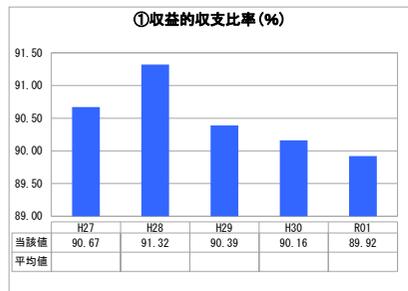
岩手県 北上市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.05	69.81	3,414

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
92,546	437.55	211.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,043	4.76	2,530.04

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①地方債償還金は逓減しましたが、依然として一般会計からの繰入金の割合が大きく、厳しい経営状況にあると言えます。(地方公営企業法を適用するため、令和元年度は打ち切り決算となっています)

④全国平均や類似団体平均を大きく下回っていますが、実際の企業債残高は事業規模に対して少なくなることから今後も適切な投資に努めていく必要があります。

⑤経費回収率は昨年度より若干増加し、年々上昇しております。しかし、使用料金で回収すべき経費である汚水処理を賄うことが出来ていないことから、一層の汚水処理経費の削減が必要です。

⑥全国平均や類似団体平均を下回っていますが、引き続き有収率の向上と汚水処理費の軽減に努めていく必要があります。

⑦全国平均や類似団体平均を上回る施設利用となっておりますが、処理区域内人口は今後大きく増加する見込みはなく、同水準で推移すると考えられます。引き続き注視していきます。

⑧水洗化率は、わずかではありますが増加傾向にあります。しかし、処理区域内人口は今後大きく増加する見込みはないことから、同水準で推移する考えられます。

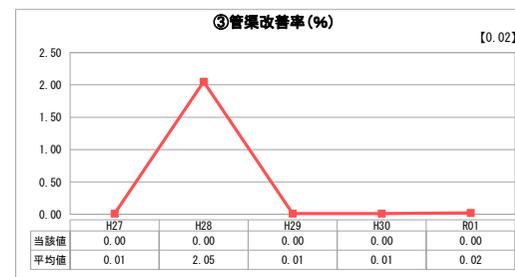
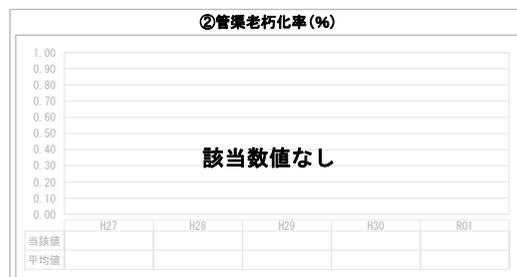
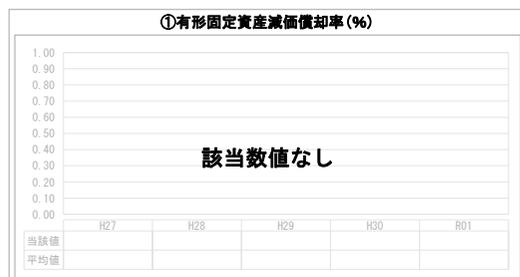
2. 老朽化の状況について

耐用年数に到達した管渠は無いことから更新等は行っておりません。

全体総括

処理区域内人口が大きく増加する可能性は低いことから、使用料収入は横ばいで推移し、また、ほとんどの施設が供用開始から15年以上経過し、老朽化が進んでいることから、維持管理費用や更新費が増加していくことが見込まれます。このことから、今後、計画されている公共下水道への接続を着実に実施するとともに、使用料の見直しを検討や水洗化率の向上などに取り組んでいく必要があります。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。